

令和7年度 晴明地域連携推進会議 議事録

事業所名：障がい者支援施設

開催日時：令和8年2月19日（木）午前10：00～午前11：00

開催場所：共生の丘建物 1階会議室

出席者：事業所職員 3名 施設長1名 相談員1名 サービス管理責任者1名

入所者 1名

入所ご家族 1名

入所者成年後見人 1名

地域関係者 1名（同町内居住者）

市町村担当職員 1名（宇都宮障がい福祉課職員）

1. 施設内見学：まずは、参加者全員で施設内を回り、晴明の現状や建物、利用者の活動の様子などを観ていただきました。

2. 挨拶：皆様、お寒い中、お忙しい中、ご足労いただきありがとうございます。

今から少々お時間を頂き、第一回目の地域連携推進会議ということで

晴明の今の人員と今に至る歴史、晴明の防災、防犯対策についてお話させて頂ければと思います。

3. 晴明人員、利用者数：まず、現在の晴明の人員は職員29名 内訳 施設長1 サビ官2 看護師1 支援員25名で構成されています

利用者の方々に関しては 入所31名 通所34名 合計65名の方が利用されています。

法人理念である「やさしく しんせつ ていねいに」を念頭において利用者の個別支援からの自立を目指し支援を行っています。

4. 共生の丘の歴史について

昭和21年ごろ 行き場のない子供たちが戦災で焼け野原になった東京で、東北に行けば何とかなるのではと、無賃乗車し発見されて保護されたところが宇都宮でした。

その時の森病院院長の森玄俊先生が、子供たちの状況を見兼ねて自宅や病院の空き部屋で衣食住を提供したのが始まりです。

（この後は資料を用いて共生の丘晴明に至るまでを説明させて頂きました）

5. 防災、防犯対策について

※晴明の見取り図と防災、防犯マニュアル資料を用いて、現在の防犯対策を説明させて頂きました。内容としましては、防犯防災器具、不審者への対応マニュアル、火災時の避難対応、地域との連携等です。

6. 質疑応答に関して

○後見人の方より、まずは各々の自己紹介、地域連携推進の目的を話されてはいかがでしょうかとのご助言を頂き、それぞれの自己紹介、地域連携推進の目的をお話ししてから質疑応答を始めました。

Q：ご家族より…利用者の外出等に関して、いつまでも家族がいるわけではないので個々の楽しみを重点に外出等を考えて欲しい。

A：令和8年度の利用者イベントに関しては、従来のグループ全体でのイベントを少なくし、個別の外出や支援を行っていきたい。また、個別外出の頻度に関しては衣類購入も合わせて一人、年3回出来る事を予定し、目標にしていますとお話する。

Q：後見人の方より、防火防犯に関して今までどのような事があったか教えて頂きたいとお話がありました。

A：○連絡なく、面会に来る方もいらっしゃいますので、利用者の個人情報など気を付けながら対応しています。(マニュアルもあります)

場合によっては複数人での対応や、ドア越しでの対応もあります。

○いたずら電話や不審者、不審車両などに関しては、記録を残し職員間での速やかな情報共有をしています。

○火災、地震想定避難訓練を行っています。

○地域との連携も図れるようにしたいのですが、過疎化、高齢化などの現状もあり、同法人施設や森病院との緊急時の連携がとれるようにしています。

○現在では急なトイレの貸し出しにさえ、職員の対応が必要になってきています。

7. 最後に

今後の晴明としても施設感をなるべく無くし、風通しの良い環境を作っていく努力をしていきたい旨をお伝えし、会議を終了しました。

以上